指定管理者施設の管理運営状況評価（モニタリング）シート（平成28年度事業分）

1　施設の概要

施設名	山梨県小瀬スポーツ公園	所管課	県土整備部　都市計画課
所在地	甲府市小瀬町840	設置年月日 （改築年月日等）	昭和61年11月1日
指定管理者	公益財団法人山梨県体育協会		
設置根拠 （法律、条例等）	都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	(1)都市公園としての①～③の機能を発揮すること ①遊び、憩いの場を提供すること ②防災拠点としての機能を発揮すること ③良好な緑地景観、環境を提供すること (2)スポーツの場を提供すること (3)主催事業の実施を通じて、スポーツに親しむ機会を提供すること		
主な施設内容 （定員等）	○公園面積 46.0ha ○施設の内容 ・第1種公認陸上競技場(敷地面積34,825㎡、ﾄﾗｯｸ、ﾒｲﾝﾌｨｰﾙﾄﾞ、ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ、ﾊﾞｯｸｽﾀﾝﾄﾞ、ｻﾌﾞｽﾀﾝﾄﾞ、電光掲示、夜間照明、7,183人収容) ・第3種公認陸上(補助)競技場(敷地面積23,902㎡、ﾄﾗｯｸ、ﾌｨｰﾙﾄﾞ、器具庫、倉庫) ・球技場(敷地面積15,800㎡) ・野球場(敷地面積25,146㎡、内外野ｽﾀﾝﾄﾞ、ｽｺｱﾎﾞｰﾄﾞ、夜間照明、13,091人収容) ・公認水泳場(敷地面積10,344㎡、50m及び25mﾌﾟｰﾙ、ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ) ・庭球場(敷地面積17,150㎡、ｺｰﾄ16面、ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞ) ・体育館(延床面積8,259㎡、3,404人収容) ・武道館(延床面積11,449㎡、武道場、弓道場、相撲場、2,864人収容) ・ｱｲｽｱﾘｰﾅ(延床面積5,071㎡、882人収容)　・ｸﾗｲﾐﾝｸﾞ場　・駐車場(第1～5) ・その他(ｸﾗﾌﾄﾀﾜｰ、芝生広場、緑地、園路広場)		
主な業務内容	(1)公園施設及び設置器具等の維持保全 (2)有料施設の利用承認 (3)スポーツ振興のための催しの実施 (4)スポーツの講習会の実施 (5)県が実施する大会等への協力		

2　類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	緑が丘スポーツ公園

3　利用状況　　単位：人、％

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（目標値）
利用者数	公園利用者数	1,794,871	1,784,963	2,162,732	
	（内有料施設利用者数(観客含)）	(1,063,726)	(1,020,023)	(1,095,887)	
	利用者数合計	1,794,871	1,784,963	2,162,732	
	目標値	1,935,000	1,792,000	1,860,000	1,938,000
	目標値設定の考え方及びその理由	24，25年度の実績値に、8月に開催されるインターハイの選手、観客を見込んだ値を達成の目標とする	25，26年度の実績値に、体育館、武道館の更新工事により、それぞれ3ヶ月間の休館期間を見込んだ値を達成の目標とする。	26，27年度の実績値に、7，8月に開催される国体関東ブロック大会の選手、観客を見込んだ値を達成の目標とする。	27，28年度の実績値に、関東規模以上の大会開催予定を考慮した値を達成の目標とする。
	対26年度比		99.4%	120.5%	
利用率		4,917人／日	4,877人／日	5,925人／日	

4　指定管理業務の収支状況　　単位：円、％

		平成27年度	平成28年度（計画値）	平成28年度（実績値）	平成29年度（計画値）
収入	施設利用料	141,435,322	140,116,000	150,162,827	144,096,000
	指定管理者委託料	426,128,000	435,076,000	435,076,000	428,669,000
	その他	32,720,361	34,889,000	36,236,987	34,957,000
	収入合計(A)	600,283,683	610,081,000	621,475,814	607,722,000
支出	人件費	188,084,500	205,287,000	198,360,864	202,051,000
	県への納付金				
	管理運営費	404,534,538	404,794,000	414,056,634	405,671,000
	うち外部委託費(B)	168,819,072	177,989,000	174,596,282	177,771,000
	支出合計(C)	592,619,038	610,081,000	612,417,498	607,722,000
収支差額(A−C)		7,664,645		9,058,316	
外部委託比率(B÷C)		28.5%	29.2%	28.5%	29.3%
利用者一人当たりの経費		238.7	233.9	201.2	221.2

5　利用者満足度

実施方法等	実施時期：平成28年4月～29年3月 実施方法：公園、有料施設利用者へのアンケート 回答数：8,480人

単位：％

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
花や木々について	63.5%	23.1%	6.7%	6.7%
トイレや休憩所について	61.9%	30.0%	6.0%	2.1%
園路や広場について	52.2%	26.7%	10.5%	10.6%
園内情報・案内板について	65.7%	28.3%	4.8%	1.2%
園内の安全・防犯について	53.7%	31.8%	9.4%	5.1%
公園スタッフの対応について	62.6%	25.1%	6.2%	6.1%
施設全般の満足度	66.3%	26.7%	4.0%	3.0%

利用者の意見	【施設・設備】 ・サッカーゴールが重い。（球技場） ・外壁の天井に鳥の巣があり糞が多い。（野球場） ・第2武道場のシャワーがカビ臭い。（武道館） 【Jリーグ、高校野球等大会】 ・不法駐車が多いため、警備員の配置をお願いしたい。（園内駐車場）
利用者の意見への対応	【施設・設備】 ・平成28年度内において、軽量ゴールを新規購入し整備を行った。 ・清掃回数を増やし、これまで以上に清掃の徹底を心がけた。 ・清掃、日常点検、メンテナンスをしっかりと行い利用者に不快とならないよう努めた。 【Jリーグ、高校野球等大会】 ・Jリーグや高校野球等が同時に開催されると駐車台数が不足し、不法駐車も増えることから、主催者側に警備員の配置をお願いしている。

６ 評価結果

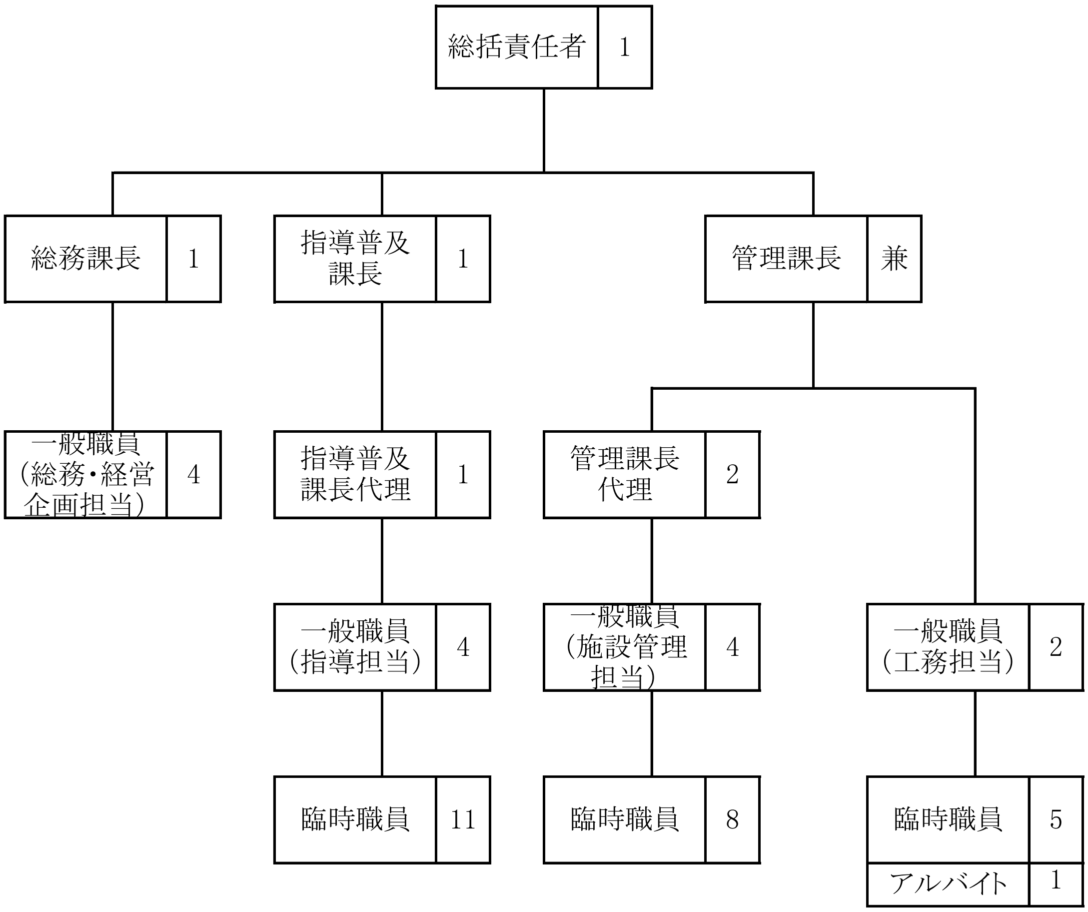
	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	概ね業務計画書以上の管理を実施した。 施設の老朽化に伴う劣化及び不具合箇所の早期発見・修繕を行うとともに、整った公園環境や高レベルな機能を提供できるスポーツ施設を維持するため、適切な保守・点検や植栽管理を計画以上に実施することにより、来園者・施設利用者に安全で快適な環境を提供できたと考える。	適切に維持管理業務が行われている。 施設が老朽化してきているため、日常点検等により、破損や不具合等がないか常時把握すると共に、迅速な修繕を実施することで、更なる利用者の利便性の維持に努めること。
運営業務	多くの県民に親しまれる憩いの場として、また県内で最も充実した複合スポーツ施設としてその機能を十分に発揮できるよう取り組んだ。 経年劣化等により頻繁に発生する施設・設備等の修繕においては、迅速に対応し安全確保を第一に利便性を低下させることのないよう実施した。 引き続き多くの県民により親しまれる公園を目指し諸事業に取り組んで行く。	営業時間を長くすることで利用者の利便性向上に努めている。 また、各種事業の運営にボランティアを積極的に活用し、市民協働に努めている。
利用状況	各種大会の実施や当協会主催の各種イベント、教室の開催によりスポーツ公園にふさわしい施設利用、貸し出しに努め、多数の方々に来園いただいた。 業務計画書に基づく各種（利用時間の拡大、無休営業、親切・丁寧な接客、迅速な対応等）の取り組みを行う中で、職員が日々利用者ニーズに対応した質の高いサービスを提供し、努力した成果と考える。	各施設のキャンセルや空き状況についてメール配信を行うことで、施設が有効に利用されるように努めており、常に多くの人に利用されている。
収支状況	無休営業、利用時間の拡大の定着や親切丁寧な接客等のサービス向上に取り組むとともに、空き情報の電子メールでの発信等積極的に取り組む等、これら諸々のより良いサービスを提供した結果、利用収入は業務計画額を大幅に上回る結果となった。支出については、経費の節減分は予算を上回る修繕や備品整備に活用し安全で快適な利用環境を提供することが出来た。	有料公園施設の利用率向上に努めることで、計画より多くの利用収入を得られている。 光熱水費や燃料費等の経費削減に努めるなかで、老朽化した施設の修繕等を計画以上に行い、利用者への還元に努めている。
自主事業	山梨県体育祭り等のイベント関係や体育館レストランの営業、イベント開催時の臨時売店の設置、管理事務所等での窓口売店等、業務計画書どおり実施した。	利用者の利便性向上のための自主事業を実施しているが、アンケートの意見等を参考に、利用者のニーズに合ったより良い事業を行えるように努めること。
利用者満足度	寄せられた意見を基に、施設・設備については不具合を放置することなく、迅速な対応を行った。 また、利用者モニターを依頼し、積極的に利用者の声に耳を傾け、意見を聴取し管理運営に反映した。 更に、各施設の機能や利用環境を保全するとともに、安心安全な公園管理に努めたことで、高い満足度が得られたと考える。	適切に管理運営を行うことで、利用者からの満足度は高い。利用者が多いため、全ての意見を聞くことは難しいが、今後も利用者の意見を参考に管理運営を行うこと。

運営目標の達成状況	運営目標の指標 ①来園者数 目標値　1,860,000人　－　実績値　2,162,732人 ②来園者数うち有料施設利用者数 目標値　1,079,000人　－　実績値　1,095,887人 ③来園者数うち主催事業参加者数 目標値　32,000人　－　実績値　33,889人 全体では、改修工事等による休場期間もなく順調な施設運営が出来、加えて国体関東ブロック予選や大型イベント開催の影響が大きかった。 特に、武道館及びトレーニングルーム利用者が著しく増加したことから、対目標数において大幅に上回った。

施設所管課による総合的な評価及び指導事項	適切な維持管理がなされており、営業期間や時間を長くすることで、利用者の利便性の向上にも努めている。 各メディアを活用した広報活動を積極的に行っており、公園の特色を活かしたイベント等を実施することにより、利用者の増加に努めている。 建設から30年近く経過しており、各施設の老朽化が目立ってきているので、細やかな点検・迅速な修繕を実施することにより、より一層の、利用者の安全性の確保と利便性の維持に努めること。
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	年中無休営業や利用時間の延長等利用者に満足していただけるサービスの向上に取り組むとともに、更に積極的な広報活動やイベント等を実施し利用者の増加、利用の拡大に努める。 また、施設、設備の保守管理や施設の安全管理に積極的に取り組み、体育施設や公園施設の利便性を低下させることなく、整った公園環境や高レベルな機能を提供出来る施設を維持するため、施設の老朽化に伴う不具合箇所の早期発見・修繕に努める等、適切な保守・点検を実施し、公園利用者に安全、安心な環境を提供出来るよう取り組む。

7　管理体制（組織図）

平成28年4月1日現在



総括責任者	1 人
課長	2 人
課長代理	3 人
一般職員	14 人
臨時職員	24 人
アルバイト	1 人
合計	45 人